



PRAY

*With the embers of the atomic bomb,
Time to pray for future peace*



TALK

原爆の残り火とともに、
未来の平和を祈る時間



LIVE



～原爆の残り火を、未来への願いを込めて吹き消そう～

2015年より、福岡県八女市星野村に残る広島原爆の残り火「平和の火」とともに、世界中を巡礼している「アースキャラバン」。国籍・人種・宗教など、あらゆる違いを超えて、平和な世界を創る試みを続けています。今夏、広島に原爆が落とされた8月6日に京都をスタートし、近江八幡、名古屋、高山、松本を巡ります。

真実を語り、未来へと向かう“キャラバン”に、あなたも参加しませんか？

2019年 8月9日(金) 時間：19:00 開演 (18:30 開場) 21:00 終了

場所：真宗大谷派 高山別院照蓮寺 (岐阜県高山市鉄砲町6) ■高山駅から徒歩で16分

■お問合せ■ 真蓮寺 【TEL】 0577-34-2507



「世界の真実と平和

- パレスチナとボスニアを訪れて -



TALK



アリスさん (Alice Schmitzhofer) (オーストリア)

ウィーン近郊に住む医師。アースキャラバン・ヨーロッパのメンバーとして、中東やバルカン半島などを巡る。また、今年の3月にはバチカンで、ローマ法王に「平和の火」を直接吹き消してもらい、世界中のメディアにその映像が流れた。



Dr. ノビ

パレスチナ・バルカン半島などの紛争のあった現場を巡り、メディアでは決して報道されない世界の真実について、詳細に語ることができる。その認識力の高さから Dr. (ドクター) と呼ばれている。

LIVE



アミナダブ

アースキャラバンの発起人で、国内外のテレビ・ラジオに楽曲を提供してきた浄土宗和田寺住職 遠藤 暁及が率いるアンビエント・バンド。極楽浄土の音を表現する唯一無二のサウンドで、アースキャラバンと共に世界で演奏活動をしている。

PRAY



“平和の火” セレモニー

一人ひとりの手の中に、ヒロシマ原爆の火をお渡しします。あなたの願い・祈りを込めていただき、二度と同じ過ちを繰り返さないことを誓って、一齐に吹き消します。



主催：高山別院

同時開催

2019. 8/1 木

↓

8/16 金

「非戦・平和展」悲一人間、この恐ろしき者よー

会場 高山別院本堂

内容 あの日のヒロシマを描き継ぐ「原爆の絵」。
被爆体験証言者と高校生の共同制作。



原爆の残り火を、未来への祈りを込めた、希望と喜びの火に。

“希望の火”(Flame of Hope) プロジェクト” スタート!



アースキャラバン
2019 / 2020

過去の悲惨さ、苦しみと悲しみの象徴である“原爆の残り火”は、日本各地の寺社、教会、モスクなどで人々の“祈り”が込められ、やがて“平和な未来”という人類共通の願いを引き受けた“希望の火”へと変容していく…。

そして、この火は、11月に38年ぶりに来日される“ローマ法王の東京でのミサ”に届けられ、ミサではこの“希望の火”を灯して祈っていただきます。

そして、その後、“希望の火”は…。

【予定スケジュール】

前半：9月28日(土)長崎出発
～10月10日(木)京都到着

後半：11月15日(金)京都出発
～11月23日(土)東京到着

*ローマ法王の東京ミサは、11月25日前後になるといわれています。

*スケジュールは変更することもあります。詳しくはHPをご覧ください。

